上南だより

令和7年　9月30日　第7号

「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」　　江戸川区立上一色南小学校

答えは「一つ」ではない、考え【続ける】ということ…

校　長　　三田　智

先々週20日（土）に実施した「学校公開」には、320名を超える保護者・地域の皆様に御来校いただきました。参観してくださった皆様、誠にありがとうございました。

先月の学校だよりに書いたとおり、同日の４校時は「道徳授業地区公開講座」の一環として、講師の先生をお招きしての講演会を実施しました。講師の先生は【 植松 隼人 】様。経歴等は学校だより９月号を御参照ください。植松様からは、今年11月に東京で開催される「デフリンピック」の紹介もしていただきましたが、それと並行して、**『「共生社会」の実現に向けて』**というテーマでお話をしていただきました。

「私は耳が聴こえません。聴こえない人でも、いろいろな人がいます。
みなさん、耳が聴こえない・聴こえにくい人と、どうやってコミュニケーションをとりますか?」

植松様が、子どもたちに問いかけた言葉です。

植松様は、会のはじめ「手話のみ」で子どもたちとコミュニケーションを図り、途中から「自らの声」で子どもたちに話を始めました。植松様は、聴覚障害がありながら、ある程度の聴き取りができますし、発話することもできます。ただし、この「２つ」ができるようになるまでは**様々な苦労や努力があった**ことは間違いありません。聴覚障害のない人は、当たり前ですが、自分の声を自分で聴くことができます。それを聴いた上で、発話の仕方（口の開け方や舌の使い方等）を成長の過程で身に付けていきます。聴覚障害のある人は、それが困難です。

「耳が聴こえない子がクラスメイトになり、一緒に『だるまさんが転んだ』で遊ぶことになりました。
みなさんなら、どうしますか?」

再度、植松様は子どもたちに問いかけていました。上記２つの問いに対し、子どもたちはいろいろ思考を巡らせている様子でした。**答えは決して「一つ」ではありません。**一人一人が**一生懸命「考えた」**ことは、すべて正解といえるのではないでしょうか。私たちが住む社会には、耳が聴こえない人だけでなく、目が不自由な人、身体に障害がある人、知的な発達がゆっくりな人等々、様々な人たちがいます。そういう人たちと会った時、そういう人たちが困っているとき、**自分にはどんな「行動」ができるでしょうか?**

近年、インターネットやAIの進化に伴い、子どもだけではなく、私たち大人も含めて、**【自ら「考える」前に、インターネットで答えを探す、AIに考えをまとめてもらう】**ような行動様式が広がってきているように感じます。もちろん、インターネットやAIを活用すること自体は「絶対悪」ではありません。むしろ、効果的に活用していくスキルは今後必要不可欠なものになっていくことでしょう。

しかし、そればかりに頼るのは、いかがなものでしょうか。変化の激しいこれからの社会を生きていく上で、**「正解が一つ」なんてことはありません。**また、私たち人間が考えることを放棄せず、**考え【続ける】こと**、これが大事なのではないでしょうか。考え【続ける】ことによって、多様な正解が見えてくる…。

私自身、考え【続ける】ことができる大人でありたいと思います。

◇◆　１０月の行事予定　◆◇

日	曜日	主な行事
1	水	都民の日（学校は休業日です）
2	木	なかよし班クロッキータイム 安全指導日　後期委員会（始）
3	金	スキルアップ特別教室（３年） 金曜日５時間授業開始（４～６年）
4	土	
5	日	
6	月	全校朝会　あいさつ運動（始） ６年体育大会放課後練習（始）
7	火	児童集会 スキルアップ特別教室（２年）
8	水	午前授業日
9	木	なかよし班クロッキータイム 避難訓練　クラブ活動
10	金	あいさつ運動（終） 教育実習終
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	全校朝会（６年体育大会壮行会） 私費会計振替日
15	水	６年体育大会放課後練習（終）
16	木	６年体育大会 ※６年以外午前授業
17	金	小松菜農家見学（３年）
18	土	
19	日	※上南まつり（10～13時）
20	月	全校朝会　前期クロッキー展（始） 運動会特別時間割（始）
21	火	
22	水	
23	木	音楽集会 運動会係打ち合わせ（５・６年）
24	金	前期クロッキー展（終）
25	土	
26	日	
27	月	全校朝会　読書週間（始） 運動会応援練習　運動会儀式指導
28	火	
29	水	運動会全体練習
30	木	運動会全体練習予備日 運動会係打ち合わせ（５・６年）
31	金	

読書の秋

図書部

少しずつ暑さが和らぎ、朝晩は秋らしい涼しさになってきました。この時季は、「食欲の秋」、「スポーツの秋」とともに、「読書の秋」と言われます。それは、湿気や気温が高くならない秋の気候が、読書に適しているからだそうです。

上一色南小学校では、多くの図書ボランティアの方の御協力のもと、「本の読み聞かせ」や「図書室の整備」を行い、子どもたちが本に触れ、親しむ機会を設けてきました。10月27日～11月９日は【読書週間】となります。この期間は、いつも以上に本の世界を広げてほしいと思っています。

読書は、心を豊かにするだけではなく、考える力も鍛えることができます。漫画や映像では既に描かれている部分を、本では、文章を読んで想像したり、考えたりする必要があります。このように本の世界を想像することは、とても楽しいものですし、読解力も鍛えられるので、よいことばかりです。絵本など自分が読みやすいと思うものからで大丈夫です。子どもたちには、ぜひ多くの本を手に取ってみてほしいと思います。

高学年へ！（４年生の様子）

４年担任一同

「学校を半分に分けたらもう高学年。低学年のお手本となるような行動を増やしていこう！」

４月、４年生に伝えたことです。学校という集団生活を通して、「誰かを思いやること」、「友達と協力すること」、「時には我慢をすること」など、これまでは難しかったことも少しずつできるようになってきました。

７月、校外学習で「ニッセイ劇場観劇」へ行きました。そこでは、集団行動の規律や公共でのマナーを守ることができ、一緒に行った３年生にとってよい手本となることができました。

２学期は運動会や社会科見学など行事が多くあります。そういった行事や日々の学校生活の中で様々な経験をすることで、学力だけでなく、「他者との関係を大切にし、豊かに楽しく生きる力」を身に付けていってほしいと思います。